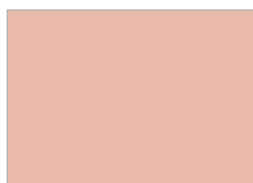


“分かち合う、共有する”といった考え方がキーワードとして挙げられ、「オープン・ソース」(Open Source) がカラーテーマとなっています。色表現も溶け合うような、重なり合ってきたらめくようなカラーなどが提案され、デザイン発想もボーダレス化しています。また未来志向のコンセプトが多く、光の束が創り出す色、不安定に揺れ動き闇に吸い込まれていく宇宙の星空に見られるような動きなど、immaterial (手でつかむことの出来ない素材) 効果を付与することが重要視されています。

I. ティント



1.パールホワイト
(Gy-8.0)



2.スムーザーピンク
(P4+)



3.オイスターグレー
(off N-11)



4.インジニアブルー
(ltg14)



5.プリュメール
(g8)

II. ノクターン



6.オレンジプリュレ
(dp4)



7.グレイドグリーン
(dkg10)



8.ペトロールブルー
(dkg18)



9.グレイスフルカッパー
(dkg6)



10.レッドビーン
(d2)

III. アレグロ



11.フレイムグロー
(dp2)



12.マーメイドオレンジ
(dp8)



13.スプレンドーブルー
(dk20)



14.パリスルビー
(PI-8)



15.リッチグリッター
ゴールド

IV. デリカート



16.クリスタルパープル
(lt22+)



17.ピーチピンク
(p2+)



18.アイシーブルー
(P16+)



19.フォレストレイク
(sf18)



20.ミステッドグレー
(ltg18)